

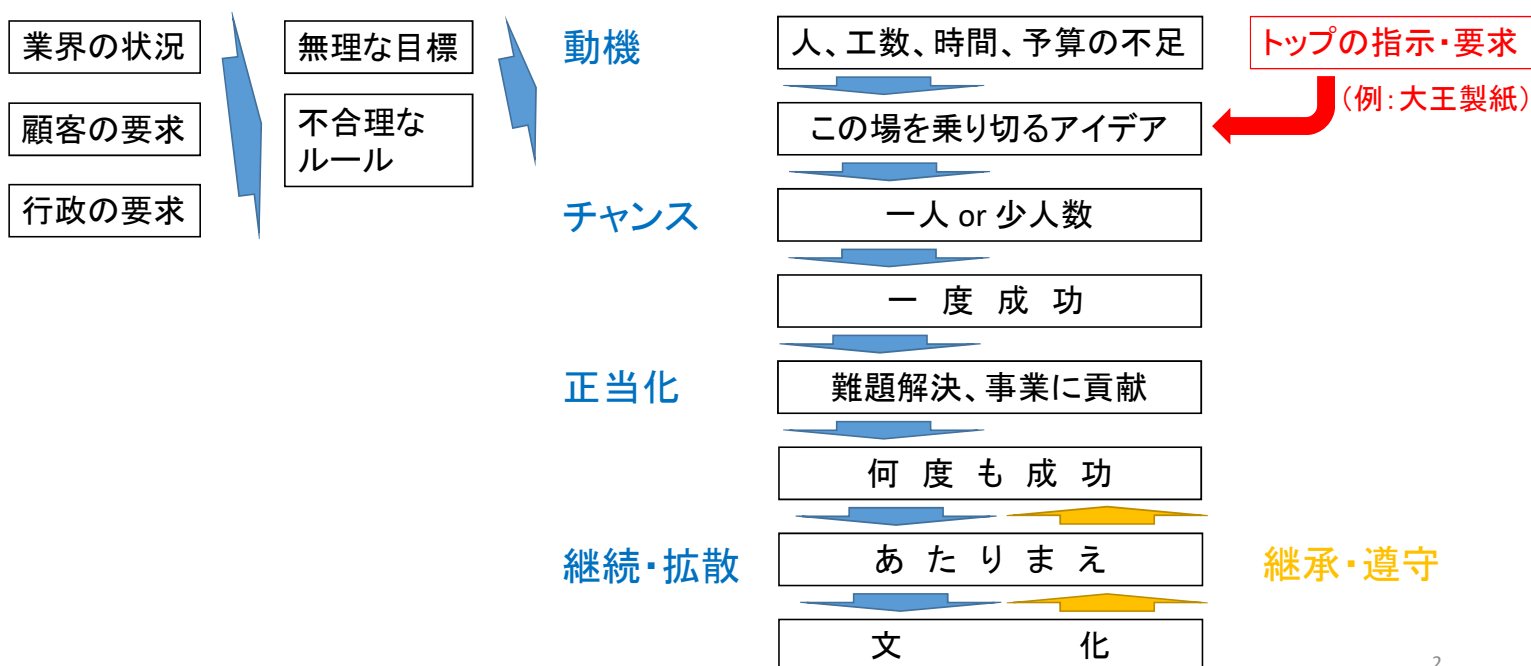
システム安全基礎Ⅳ 第2回

事例分析、不正の徴候

長岡技術科学大学
大学院技術経営研究科
システム安全専攻
実務家教授 山形 浩史
yamagata@vos.nagaokaut.ac.jp

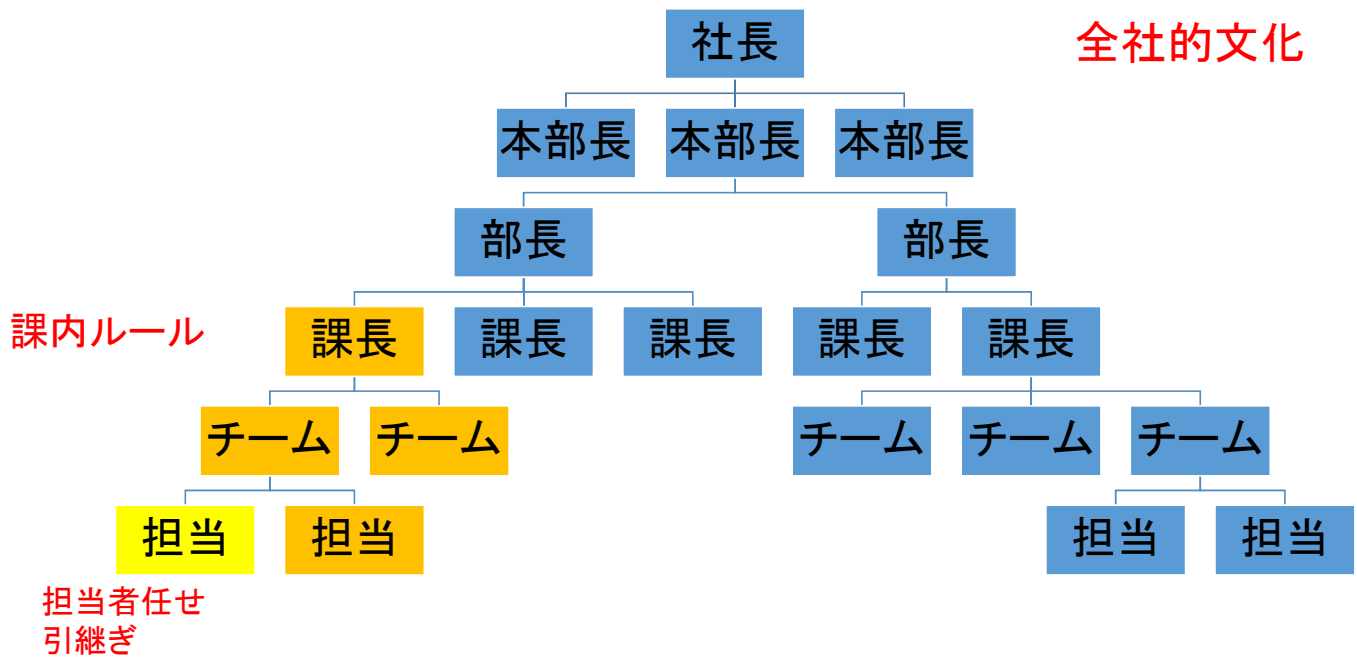
1

不正文化の形成過程



2

どのレベル(村)の文化？



3

第2回課題 不正の徴候

A. 動機

- ✓現場の不満
 - ✓残業が多い
- ✓

B. チャンス

- ✓業務の透明性
 - ✓20年のベテランに口出しできない
 - ✓隣の課が何をしているか知らない
- ✓

- ✓牽制・チェック機能
 - ✓会議で議論がない
 - ✓上司の命令は絶対
- ✓

C. 継続

- ✓変化を嫌う
 - ✓ルールは絶対
- ✓

D. 組織への依存

- ✓定年まで安泰に過ごしたい
- ✓上司に逆らって飛ばされた
- ✓

課題： 様々な不正の徴候を抽出し、アンケート票(観察票)を作成し、自社を分析

4

第2回課題 不正の徴候への対策

課題:不正の徴候に対して対策を考える
(自社に徴候がなくても予防するための対策を)

例: 会議で議論がない

取締役会で議論がない <= 外部監査役

課内会議で議論がない <= 課長は席を外し、提案を求める

5

第2回課題 上司の説得(アウトラインのみ)

- A) 正論
 - 法令遵守、安全第一
- B) 経済的利益
 - 安全対策で長期的利益を試算
- C) 功名心・名誉欲をくすぐる
 - 勲章、表彰を狙う
- D) 恐怖心・不安を煽る
 - 秘密は必ずばれる
 - 他社の教訓(倒産、逮捕者)

Discussion: 他にどんな手段?

課題: 対策を実施に移すため、
上司をどのように説得するか
(アウトラインのみ。データは不要)

6

第2回課題 発表資料を作成する前に

安全マネジメントの講義資料を読み直す

第11回 コーポレートガバナンスと内部統制

第12回 安全文化

<http://safety-management.na.coocan.jp/>

他の学生が発表する不正事件の分析を理解する

7

第2回課題 発表資料構成

11月3日(長岡)、23日(東京Web)
9:50-13:00(延長の可能性大)
発表時間:10分

1. 参考とした不正事件

2. 不正の徴候

社外の環境、社内の文化、、

・具体的徴候

動機(社内事情、個人事情、、)

統制(組織、透明性、牽制、実効性、、)

3. アンケート票(観察票)

4. 自社の調査結果・分析

5. 不正の徴候に対する対策

6. 対策を実施する必要性

左は、一例です。
各自の視点で分類してください

8